

3月 園だより

<教育目標> ・元気に遊ぶ子ども
・豊かに感じる子ども
・考え工夫する子ども
R2. 2. 28 文京区立本駒込幼稚園



たくさんの思い出に包まれて



園長 原田幸子

先日の朝、正門前で挨拶を終えてふと桜の木を見上げると、硬いつぼみが少し膨らんでいました。今年は暖冬ですが、春の訪れはやはりうれしいですね。新型コロナウイルスの感染拡大が心配ですが、幼稚園と家庭で力を合わせ、できる限り感染予防に努め、子どもたちが元気に過ごせるようにしてまいりましょう。

今年は開園45周年でした。6月の開園を祝う会では、リサイクル活動の収益金でパントマイム鑑賞を行いました。チカパンさんは「心の目で見ると」ことの大切さを、メッセージとして残してくださいました。記念品のうちわは、子どもたちが自分で模様を付けた素敵なものでした。10月の運動会では、「青い空に絵をかこう」の音楽に合わせて年長組がバルーンの演技を行い、その横で年中組、年少組がポンポンを持って応援し、最後に「45周年おめでとう！」と全員で声を合わせました。12月に発行した開園45周年記念誌には、「大きくなったらなりたいもの」「好きな遊び」「好きな食べ物」など、子どもたち一人一人の声とかわいい笑顔が並びました。子どもたちや保護者の方にとっても、教職員にとっても思い出に残る年となったことと思います。

この一年間で子どもたちは大きく成長しました。現在、年長組は修了式に向けて、幼稚園生活を振り返り、思い出の言葉を考え始めています。「運動会の忍者の踊りで、ヤーってところが楽しかった」「バルーンの最後のキラキラのポーズが上手にできた」など、細かいことをよく覚えていて、話しています。様々な経験を通して、感性が豊かに育ち、自分の思いを言葉や動きで上手に表現できるようになりました。年中組は、友達とのやりとりが活発になるとともに、誕生会の司会、当番活動、クリーンデーなど、年長組から手順や方法を教えてもらい、年長組への憧れの気持ちが芽生えています。年少組は笑顔で登園できるようになり、好きな遊びを存分に楽しむようになりました。明るく、優しい子どもたちが、たくさんの思い出を胸に、自信をもって就学、進級できるよう、残りの日々も大切にしたいと思います。

今年度も保護者の皆様、地域の皆様には幼稚園教育にたくさんのご支援、ご協力をいただきました。厚くお礼を申し上げます。

